

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ここぷらす 坂之上			
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日 ～ 令和7年1月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数)	32
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日 ～ 令和7年1月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月11日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	満足度・適切な支援の提供	・ 活動内容が固定化されないよう、計画立てて支援を提供している。 ・ 活動後のご利用者の反応を職員間で共有し、次の活動へと繋げている。 ・ 生活に活かせる活動や、就学に向けての細かい取り組みを行っている。	・ 普段の関わりや面談をととして、保護者やご利用者のニーズを把握する。 ・ 研修等にも積極的に参加し、より細やかで根拠ある支援を提供できるよう人材育成に努める。
2	非常時の対応	・ 訓練の実施について、計画立てて行っている。	・ 訓練の実施後に、ご利用された保護者へは報告をできているが、ご利用がなかった方への報告が行えていないため、訓練実施が周知できていない。訓練後には活動記録やお便り等で周知していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援（普段の助言に加え、保護者が子どもの対応について学ぶ場、研修会の実施など）	・ 事前の計画不足（ニーズの未把握）	・ 保護者からのご要望やご利用者の様子に合った研修会を次年度計画していく。 ・ 研修会等に参加し、職員のスキルアップを図る。
2	環境・体制整備	・ 入職時のミスマッチによる職員の退職 ・ 職員一人ひとりの将来像や目標の把握と擦り合わせ	・ 今年度より本社にて採用チームを立ち上げている。認識に相違がないよう丁寧な説明や見学対応を行っている。 ・ 月に1回職員と管理者の面談を実施し、目標や進捗について確認を行い、一人ひとりの夢や希望を叶えられる職場となるよう努めている。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名
ここぱらす坂之上

公表日
R7年 2月 27日

利用児童数
44

回収数
32

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	7		1	・少し狭く感じますが、工夫されて活動していると思います。 ・十分な広さはあると思う。	・法定の広さはあり、活動により部屋の配置を変える等工夫して取り組んでいます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	4	1	7	・職員の方が何人か辞められたのか、少なくなったと感じます。 ・適切だと思う。	・R7.1現在加配の取れる人員配置となっております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	4		2	・配慮されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	2			・清潔にされていた。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	1		2	・子どもの様子を詳しくHUGで見ることができています。 ・受けられている。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	1		4	・合っている。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30	1		1	・まだ始めたばかりで分からない。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	2		1	・支援内容についてまだきちんと把握できていない。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	3			・支援内容に沿って支援をきちんと行ってくれています。時々写真があるのがとても嬉しいです。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	1	1	3	・様々な活動を取り入れられていると思います。 ・曜日ごとに変化している。	・定着を目的に同じ活動に取り組むこともありますが、活動内容には変化をつけながら子ども達が飽きずに楽しめるよう工夫しています。
保護者	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	11	1	11	・幼稚園とも何度も話をしてくれているようで、有難く嬉しいです。 ・通園しているので必要なし。 ・個人的には特に求めています。 ・まだ始めたばかりで良くわからない。	・平行通園のご利用者が多く、保護者からのご要望もない状況です。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	1	1		※未回答 3 ・保育所等訪問の際、日程等のことであり… ・説明があった。	・丁寧な説明を受けていないと感じられる保護者の方がいらっしゃり、大変申し訳ございませんでした。ご利用開始前に、一つひとつ丁寧に説明し合意を得た上でご契約して頂けるよう努めます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	1	2	2	※未回答 3 ・計画書は頂いていますが、示しながらの説明はありませんでした。 ・説明があった。	・送迎時に書面の配布後、計画書を示しながら丁寧に説明できていないことがありました。計画の交付にあたり、面談の設定が難しい際には、書面をもとにお電話で説明する等、工夫して参ります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	6	1	5	※未回答 3 ・研修会の有無をまだよく知らない。	・ペアレントトレーニングは検討中の段階です。保護者向けの研修会は来年度実施予定となっております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	26	1	1		※未回答 4 ・アプリをとおして伝えられている。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	7	1	1	※未回答 3 ・面談あり。	・半年に1度の面談に加え、必要に応じて面談の実施を行っております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	1			※未回答 3 ・一部のみ ・思う。	・ご利用者・ご家族に寄り添うことを理念に掲げております。今回のご意見をもとに、改めて一人ひとりの言動を見直し、業務に当たって参ります。

こ へ の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	8	4	8	※未回答 3 ・個人的には保護者同士の交流は特に求めています。 ・まだ参加したことがないため、分からない。	・保護者会は未実施です。年に2回程度、保護者同伴の活動を計画し、そこで交流の機会を作って参ります。今年度は3月に実施予定です。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	4		6	※未回答 3 ・まだ分からない。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	2		1	※未回答 3 ・送迎時間が変更されたときに連絡がないことが数回あったため、改善されることを期待しています。 ・アプリを通してできている。	・送迎時間の変更の際の連絡方法等、保護者様へご意見を頂きながら、検討共有しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	23	4	1	1	※未回答 3 ・活動の様子を文章や写真で見れるのは嬉しいです。毎回詳しく書かれていますが、ほとんど内容が書かれていないときには残念でした。 ・アプリにて発信されている。 ・1月から午前だけの活動になるのは、もっと早く知りたかったです。	・自己評価についてはホームページに毎年掲載しております。 ・活動時間の変更について、スケジュールに余裕を持った対応ができないことがありました。今後、変更がある際には丁寧な説明と期日に余裕をもったご案内ができるよう努めて参ります。 ・記録の内容につきまして、記録方法の統一を図り、記録から支援の内容がしっかりと読み取れ、保護者の皆様に安心して頂けるよう努めて参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	1		1	※未回答 3 ・留意されている。	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25			4	※未回答 3 ・訓練の実施の有無を知らない。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	1		2	※未回答 3 ・子どもに避難訓練を経験させて頂いているのはありがたいです。 ・訓練の有無を知らない。	・訓練は年2回以上実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28			1	※未回答 4 ・支援されている。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28				※未回答 3 ・説明されている。	
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	28	1			※未回答 3 ・いつ行けるの？と聞いてきます。 ・楽しく通っている。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	2			※未回答 3 ・とても楽しみにしています。 ・毎回とても楽しみに通わせて頂いています。 ・楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	1	1		※未回答 3 ・いつもお忙しいなかでも、皆さん笑顔でとても素敵だなと感じています。 ・満足している。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ここぶらす 坂之上					公表日		R7年 2月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動によって、部屋をパーティションで仕切る等、工夫しながら対応している。					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		加配の取れる人員配置である。	令和6年度は2名の職員の退職があったため、配置基準は満たしているものの、職員数が一時的に少なくなることがあった。ご利用者やご家族が安心して通所できるよう、働きやすい環境づくり、支援者も成長できる環境づくりに努めていく。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		室内に段差はなくバリアフリーな造りである。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃を行っている。					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要時にはパーティションで区切ったり、別室へ誘導できるようにしている。					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		月に1回の会議の場や毎日のミーティングの場面で、必要に応じて業務改善について話し合う時間を設けている。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○							
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月に1回の会議、面談の場面で、聞き取りを行い、職員の意見をもとに業務改善を図っている。					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価は未実施。社内監査を行い、必要に応じて業務改善を図っている。					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月研修会を実施している。また、キャリアごとの研修会も研修計画に基づいて開催している。					
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて公表している。					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		5領域に沿ったアセスメントを行っている。					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○							
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ミーティング時に共有し、個別支援計画に沿って支援を提供している。					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		利用開始時、計画更新時のアセスメントシートに加え、必要に応じて、心理士と連携を図りながら各種発達検査を実施している。					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○							

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			職員の異動等もあり、立案者に偏りがある状況であった。現在、改善にむけて調整している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		ご利用者が楽しく意欲的に取り組めるよう、活動を変えて取り組んでいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前日に打ち合わせを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援後にはミーティングを行い、情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		○		必要に応じて、今後ご助言を頂く機会を作っていく。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		並行通園しているご利用者も多く、保護者からも交流の必要性があがっていないため、未実施。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニングは行っていないが、面談や相談時には情報提供を行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月に1回のおたよりにて、活動内容や共有事項について周知している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		近所の商店への買い物を頻繁に行っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		見学相談時に、健康状況や発作の確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		同法人の他事業所のヒヤリハットや事故報告を共有し、再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止や権利擁護について法定の研修以外にも、研修を実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			